

福井アリーナ（仮称）に関する Q&A

Q1. なぜ、福井駅周辺にアリーナを建設するのですか？

A1. 北陸新幹線の福井・敦賀開業は、福井県にとって 100 年に一度の大きなチャンスです。県内外から多くの人を訪れる「福井の玄関口」である福井駅近くに、新たな賑わいの中心となるアリーナを建設することで、交流人口の拡大と中心市街地の活性化を目指します。
新幹線を降りてすぐの場所で、プロスポーツの試合やコンサート、様々なイベントを体験できる環境を整えることは、福井の都市ブランド価値を大きく向上させるものと考えています。

Q2. アリーナの建設は、福井のまちづくり全体の中で、どのように位置づけられているのですか？

A2. 福井アリーナ構想は、福井商工会議所、福井県、福井市の 3 者で策定した「県都グランドデザイン」において、福井駅周辺の新たなにぎわい拠点として位置づけられています。
このグランドデザインでは、これまで郊外に分散しがちだった都市機能を中心に再配置し、まちなかの価値を最大化する「県都リノベーション」という方針が掲げられています。その中でもアリーナが建設される東公園エリアは、特に「文化・芸術やスポーツを楽しめるまち」として、福井駅周辺の交流人口拡大と賑わいを創り出すための戦略的な拠点となることが期待されています。

Q3. 建設や運営にかかる費用は、最終的に税金で賄われるのでしょうか？

A3. このアリーナ計画は、行政主導ではなく、民間が主体となって進める事業です。建設や運営にかかる費用は、主に企業の皆様からのご寄付や企業版ふるさと納税、そして金融機関からの融資によって賄う計画です。

民間の知恵と活力を最大限に活かし、効率的で持続可能な運営を行うことで、税金に過度に依存しない、新しい官民連携のモデルケースとなることを目指しています。

建設費の一部は国の交付金を活用するなど、国・福井県・福井市にご支援いただく計画であり、官民一体となって建設に向けて取り組んでいます。

Q4. アリーナが完成するのはいつですか？計画の進捗を知ることができますか？

A4. 現在、2028 年秋の完成を目標に、設計や資金調達などの準備を進めています。
大規模な建設プロジェクトのため、資金調達や建設予定地の埋蔵文化財調査、各種許認可手続きなどもあります。関係各所と緊密に連携を取りながら、計画が着実に前進するよう全力を尽くしていきます。
進捗状況につきましては、このホームページで随時ご報告いたします。

Q5. 建設工事や完成後のイベントによる、周辺への影響（騒音・振動・日照・交通渋滞など）への対策はどう考えていますか？

A5. アリーナの建設にあたっては、周辺地域の皆様の生活環境の保全に最大限配慮することが大前提であると考えています。

計画段階から、騒音、日照、振動などに関する詳細な環境調査を実施し、専門家と共に影響を最小限に抑える設計・工法を検討しています。また、イベント開催時の交通渋滞対策などについても、イベント主催者、行政、関係機関と連携して対策を講じる計画です。

地域の皆様には、説明会などを通じて丁寧に情報提供を行い、ご意見を伺いながら事業を進めていきます。

Q6. イベント開催時の騒音、特に夜間の音が心配です。対策は考えていますか？

A6. 周辺にお住まいの皆様への配慮を念頭に置いて設計を進めています。
具体的には、以下のような多角的な対策を計画しています。

- 建物の配置と構造：各種法令ごとの規制値を遵守することはもちろん、周辺の住宅街からできるだけ距離を取り、音漏れがしにくい鉄筋コンクリート造の外壁を採用します。
- 計画段階から音響の専門家によるシミュレーションを行い、対策の効果を検証しながら進めていきます。
- イベントの興行主には、来場者が静かに退場するよう、呼びかけていただくよう依頼します。

Q7. アリーナの駐車場は利用できますか？

A7. 誠に申し訳ございませんが、アリーナの駐車場は興行時やイベント時には主催者および関係者専用となっており、原則、一般のお客様はご利用いただけません。ご来場の際は、公共交通機関のご利用を推奨していますが、お車でご来場の際は周辺の民間駐車場や「パークアンドライド」等のご利用をお願いします。また、お身体の不自由なお客様や車椅子をご利用のお客様、妊産婦のお客様は、ハートフル専用パーキング（身体障がい者等用駐車場）をご利用いただけます（台数に限りがあります）。

Q8. 多くの人が一度に来場すると、周辺道路の交通渋滞や違法駐車起きるのではないのでしょうか？

A8. 交通対策は、アリーナ運営における重要な課題と認識しています。
アリーナは福井駅から徒歩圏内という利便性の高い場所にあるため、ご来場の皆様には公共交通機関の利用を積極的に呼びかけていきます。
駐車場については、興行、イベント時には一般来場者は駐車できないことを周知するほか、必要に応じて臨時駐車場の確保やシャトルバスの運行なども関係機関と協議し、周辺道路への影響を最小限に抑える対策を講じる計画です。また、短時間に人の動きが集中しないような対策に加え、警備員や誘導員の配置により送迎車両が近隣に停車しない働きかけや、近隣の商業者と連携による分散駐車を検討します。

Q9. 建設工事中の騒音や振動、工事車両による影響はあるのでしょうか？

A9. 工事の時間帯や曜日については周辺住民に配慮するとともに、騒音や振動が基準値を超えないよう対策をします。また、工事車両の通行ルートや時間帯についても、地域の皆様の安全を最優先に計画し、事前にご説明させていただきながらご理解をいただけるよう努めていきます。

Q10. アリーナができることで、公園としての機能が失われてしまうのではありませんか？

A10. 東公園については、アリーナ整備と同じ時期に福井市が再整備を行う予定です。基本コンセプトは人が集い、憩い、自然を感じることができる公園とし、機能向上を図る計画です。また広場や公園遊具などは住民のご意見も伺いながら、設計に反映されるものと伺っています。
アリーナは、これまで公園が担ってきた役割を継承しつつ、さらに魅力的な場所となるよう計画してまいります。イベント時だけでなく興行が行われない日でも、地域の皆様が気軽に立ち寄り、憩い、交流できるような「日常的に誰もが利用できる開かれた施設」となることを目指し、公園に面してエントランスホールやショップなどの整備も計画しています。

Q11. アリーナは、どのようなことに利用されるのですか？

A11. 主な利用方法として、以下を想定しています。

- バスケットボール、バレーボール、ハンドボールなどのスポーツ興行
- 国内外の有名アーティストによるコンサートやライブ
- 展示会や見本市、企業等の式典など多種多様なイベント
- 子どもが遊べるイベントやダンスや音楽の発表会、はたちのつどい、小・中・高などの各種スポーツの大会や地域スポーツクラブの活動など、県民の皆様がスポーツやレクリエーションに幅広く利用できる機能など子どもからお年寄りまで、多くの人々が集い、感動や興奮を分かち合える、福井の新しいシンボルとなることを目指します。

Q12. もし大きな地震などの災害が起きた時、アリーナはどのように役立つのでしょうか？

A12. アリーナは災害時の防災機能の役割も担っています。

災害時、公共交通の不通等により帰宅困難者が発生した際には、福井市からの要請に沿って一時的に避難していただくスペースとしての活用や、支援物資を受け入れて保管・分配準備する「集積拠点」としての機能も備える計画です。

Q13. 遠方に住んでいる県民への配慮はありますか？

A13. 福井市民はもとより広く県民の皆さまに利用していただきたいと考えており、嶺南や奥越にお住まいの方にも楽しんでいただけるようなイベントを企画するとともに、イベント時の臨時バスの増便や駐車場料金の支援など、遠方から来場される方の負担が軽減され楽しんでいただける仕組みを関係機関とともに検討し、県民の皆さまに愛される施設となるよう努めていきます。

Q14. コンサートの利用想定日数が、基本計画案から大きく変わった理由を教えてください。

A14. コンサートについて、福井という立地やアリーナのキャパシティなどを踏まえたうえで、知見のある関係者の意見や市場性を考慮し、無理なく開催・集客が可能なものとして変更しました。全国的にスタジアム・アリーナの整備が加速しており、5,000人規模の多目的アリーナについても地方を中心に計画が数多く進められていることから、地方や周辺都市とも連携を図るなど、1つでも多くイベントを誘致できるよう取り組んでいきます。

Q15. サンドーム福井やフェニックス・プラザなど県内の施設との競合や棲み分けをどのように考えていますか？

A15. 収容人数について、サンドーム福井は8千人から1万人、フェニックス・プラザは2千人となっており、福井アリーナの4千人から5千人とはコンサートやイベントのニーズが異なっているため、施設の規模という観点から棲み分けができると考えています。これまで県内で開催できなかった多様なイベントを誘致し、県外から人を呼び込むとともに、県民の皆さまにも楽しんでいただける施設となるよう、運営会社等と連携して準備を進めていきます。

Q16. 障がい者の方などにも使いやすいような対応をされる予定はありますか？

A16. バリアフリー法では、不特定多数の方が利用する一定の面積基準を満たす施設を整備する場合、点字ブロックの敷設や階段への手すり設置などが義務づけられており、障がいのある方にも安心・快適に利用できる施設となるよう整備を進めていきます。なお、法律等の基準を満たすことはもちろん、興行やイベント時に、障がいのある方を含めたあらゆる方が快適にご利用いただけるよう配慮し、設計・整備を進めていきます。

Q17. この計画を応援したいのですが、個人や企業が寄付をする方法がありますか？

A17. このプロジェクトに対する温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

企業の皆様は「企業版ふるさと納税」などによるご支援を募っております。また、市内外の多くの皆様の思いを受け止める仕組みを検討する予定です。詳細につきましては、今後、本ホームページでご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。